



久留米工業高等専門学校

材料システム工学科

Department of Materials System Engineering

ものづくりを支える材料の開発・設計・製造から利用、その後の寿命による破壊、リサイクルまでを『材料のシステム』として学び、社会の発展に貢献できる材料技術者の育成を目指しています。

■ 現代社会を支える材料

身近にあるものから宇宙船といったものまで世界のほとんどは工業材料からできています。つまり、工業材料なくして我々の生活は成り立ちません。そんな世界の土台を支える学問、それが材料システム工学です。

■ 専門知識を学ぶ

構造・機能材料をはじめとする工業材料(金属・セラミックス・プラスチック)に関する知識を学ぶだけでなく、機械、電気、化学や情報に関する工業的基礎知識についても学びます。

■ 応用技術に生かす

携帯電話から航空機まで世の中にある製品には、様々な特性があります。新たな製品を開発するための一連の技術(コンピュータを使った設計・製図、電子顕微鏡やエックス線の高度な分析装置を活用した材料評価やナノ・マイクロ材料の創製、環境に配慮した省エネルギー技術やリサイクル技術の創製)を学びます。

教育目的

ものづくりの基礎となる工業材料の開発・設計・製造から利用、その後の寿命による破壊、リサイクルまでの材料に関する一連の専門知識を身につけ、社会の発展に貢献できる技術者を育成します。

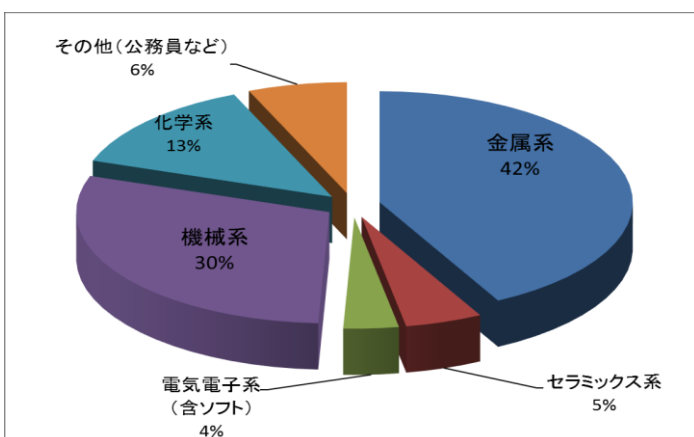
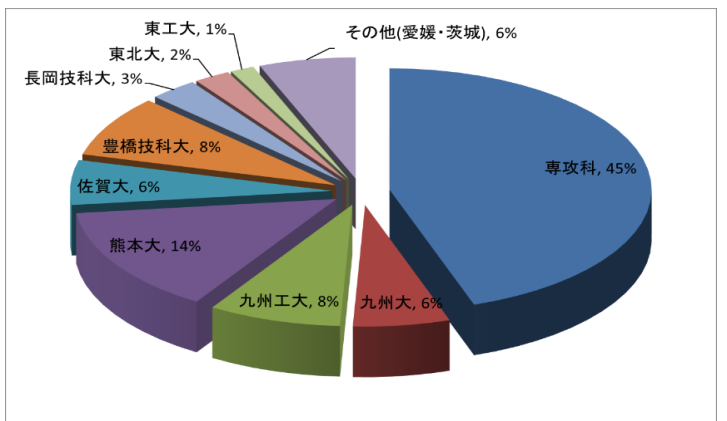
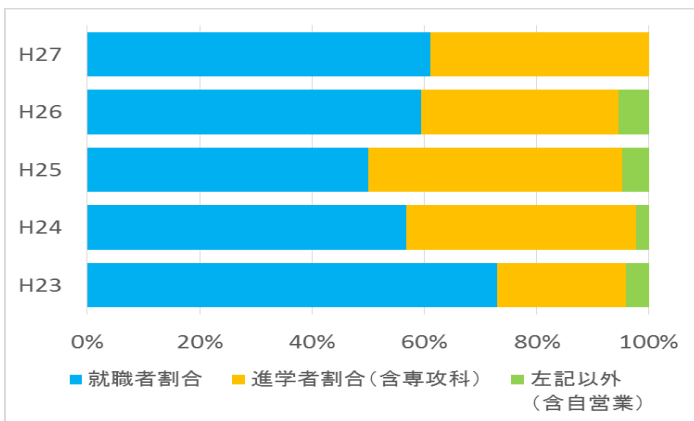


材料システム工学科で勉強すること



卒業後の進路について

本科卒業後の進路は、約 60%が就職、約 40%が専攻科・大学へ進学しています。



主な進学先：

久留米高専専攻科、九州大学、熊本大学、九州工業大学、東京工業大学、東北大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、佐賀大学、他

主な就職先：

新日鐵住金、三菱重工、ダイキン工業、名村造船所、宇部興産、ソニーセミコンダクタ、京セラ、NOK、日本精工、シマノ、LIXIL、三井三池製作所、三井金属鉱業、日之出水道機器、東洋製罐、第一精工、他